

東大阪市長 様

旧企業組合大阪ホールセール土壤汚染調査業務

土壤汚染状況調査 報告書

平成27年12月

調査実施者（指定調査機関）：株式会社タツタ環境分析センター
環境省 指定調査機関（2003-5-1002）

目次

1	調査概要	1
1.1	工場又は事業場の名称	1
1.2	工場又は事業場の所在地（地番・住居表示）	1
1.3	工場又は事業場の面積	1
1.4	調査目的	1
1.5	参考法規等	1
1.6	土地の所有者等	1
1.7	指定調査機関等	1
1.8	調査期間	2
2	土地の履歴調査	4
2.1	土地の利用履歴等	4
2.1.1	調査方法	4
2.1.2	土地の利用履歴概要	4
2.2	特定有害物質の使用履歴	4
2.3	履歴調査結果	4
3	調査対象物質の選定	5
4	土壌汚染のおそれによる土地の分類	6
4.1	汚染のおそれが生じた場所の位置	6
4.2	土壌汚染のおそれの区分の分類	6
4.2.1	テトラクロロエチレン及びその分解生成物、 1,1,1-トリクロロエタン及びその分解生成物、ベンゼン、ふっ素及びその化合物	6
5	単位区画の設定	8
6	試料採取地点の設定	11
6.1	テトラクロロエチレン及びその分解生成物	11
6.1.1	土壌汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点	11
6.1.2	試料採取地点表	11
6.2	1,1,1-トリクロロエタン及びその分解生成物	13
6.2.1	土壌汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点	13
6.2.2	試料採取地点表	13
6.3	ベンゼン	15
6.3.1	土壌汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点	15
6.3.2	試料採取地点表	15
6.4	ふっ素及びその化合物	17
6.4.1	土壌汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点	17
6.4.2	試料採取地点表	17
7	試料採取方法・測定方法	19
7.1	第一種特定有害物質（土壌ガス）	19
7.2	ふっ素及びその化合物	20
7.3	調査数量	21

8	調査結果	22
8.1	テトラクロロエチレン及びその分解生成物	22
8.1.1	土壌ガス調査結果	22
8.2	1,1,1-トリクロロエタン及びその分解生成物	23
8.2.1	土壌ガス調査結果	23
8.3	ベンゼン	24
8.3.1	土壌ガス調査結果	24
8.4	ふっ素及びその化合物	25
8.4.1	土壌溶出量調査結果	25
8.4.2	土壌含有量調査結果	25
9	評価	26

添付資料

添付資料①：計量証明書及び分析結果報告書

添付資料②：現場写真

1 調査概要

1.1 工場又は事業場の名称

旧企業組合大阪ホールセール（跡地）

1.2 工場又は事業場の所在地（地番・住居表示）

地 番：東大阪市荒本1丁目36番34の一部

住居表示：東大阪市荒本1丁目1-3

（所在地は図1.1参照）

1.3 工場又は事業場の面積

調査対象面積：1635.08m²

（調査対象範囲は図1.2参照）

1.4 調査目的

本調査地は皮革クリーニング工場跡地である。設置されていた施設は土壌汚染対策法施行以前のものであるため、同法に準じた自主調査を行った。

1.5 参考法規等

- ・土壌汚染対策法
（平成14年5月29日法律第53号）
- ・土壌汚染対策法の一部を改正する法律による改正後の土壌汚染対策法の施行について
（平成22年3月5日環水大土発第100305002号）
- ・土壌汚染対策法施行令
（平成14年11月13日政令第336号）
- ・土壌汚染対策法施行規則
（平成14年12月26日環境省令第29号）
- ・土壌汚染対策法の一部を改正する法律による改正後の土壌汚染対策法の施行について
（平成23年7月8日環水大土発第110706001号）
- ・土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第2版）
（平成24年8月環境省）

1.6 土地の所有者等

東大阪市

所在地：東大阪市荒本北1丁目1番1号

電話番号：06-4309-3176

1.7 指定調査機関等

- ・土壌汚染状況調査を行った指定調査機関
株式会社タツタ環境分析センター
指定調査機関指定番号：2003-5-1002
所在地：大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
電話番号：06-6725-6688
技術管理者：山川 和浩（技術管理者証交付番号：第0001364号）
担当者：山川 和浩
- ・分析を行った計量法第107条の登録を受けた者
株式会社タツタ環境分析センター
環境計量証明事業登録番号：大阪府知事登録第10091号（濃度）
所在地：大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号

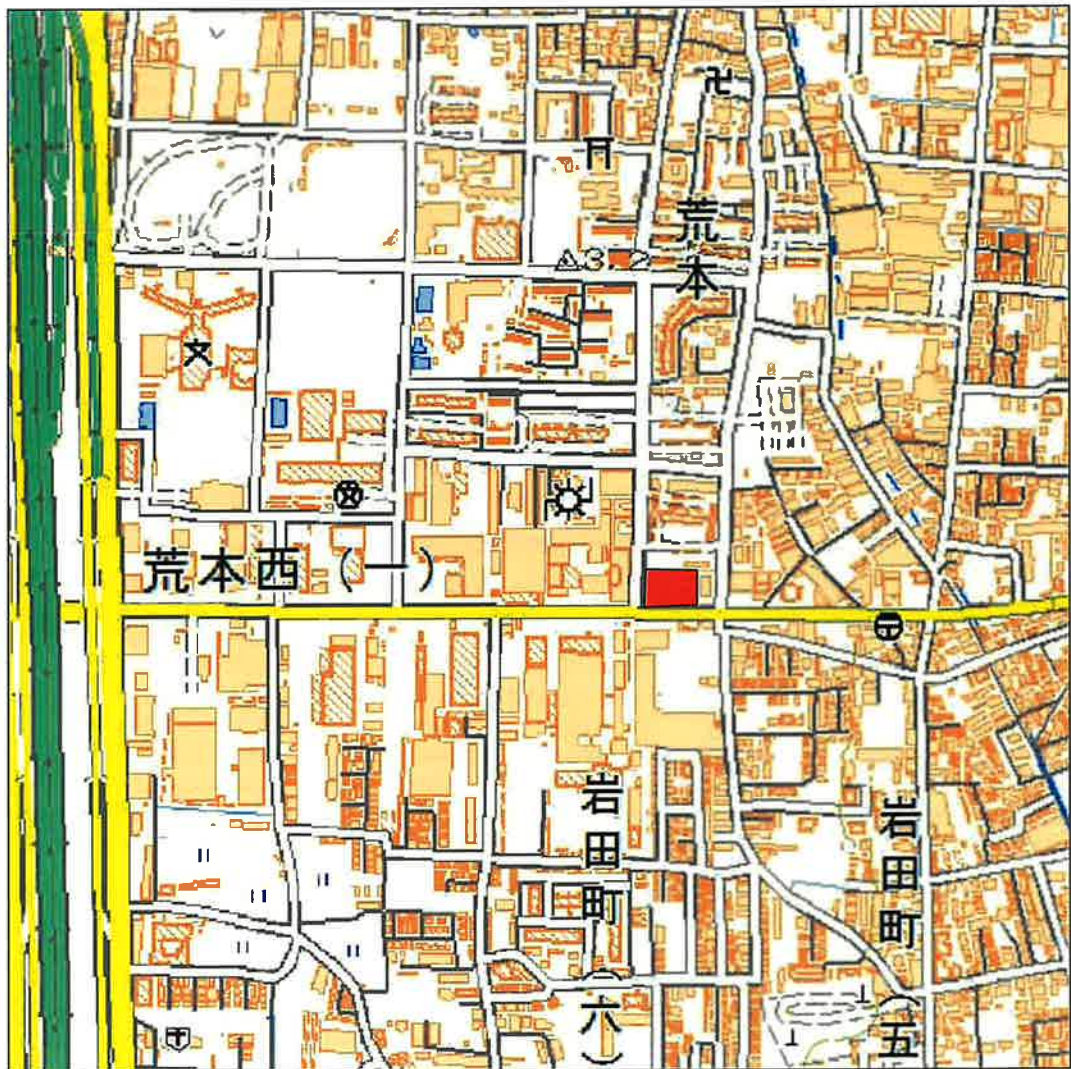
1.8 調査期間

平成 27 年 9 月 14 日～11 月 18 日：地歴調査

平成 27 年 11 月 6 日：測量（位置出し）

平成 27 年 11 月 27 日：現地調査（土壌試料採取、土壌ガス採取・分析）

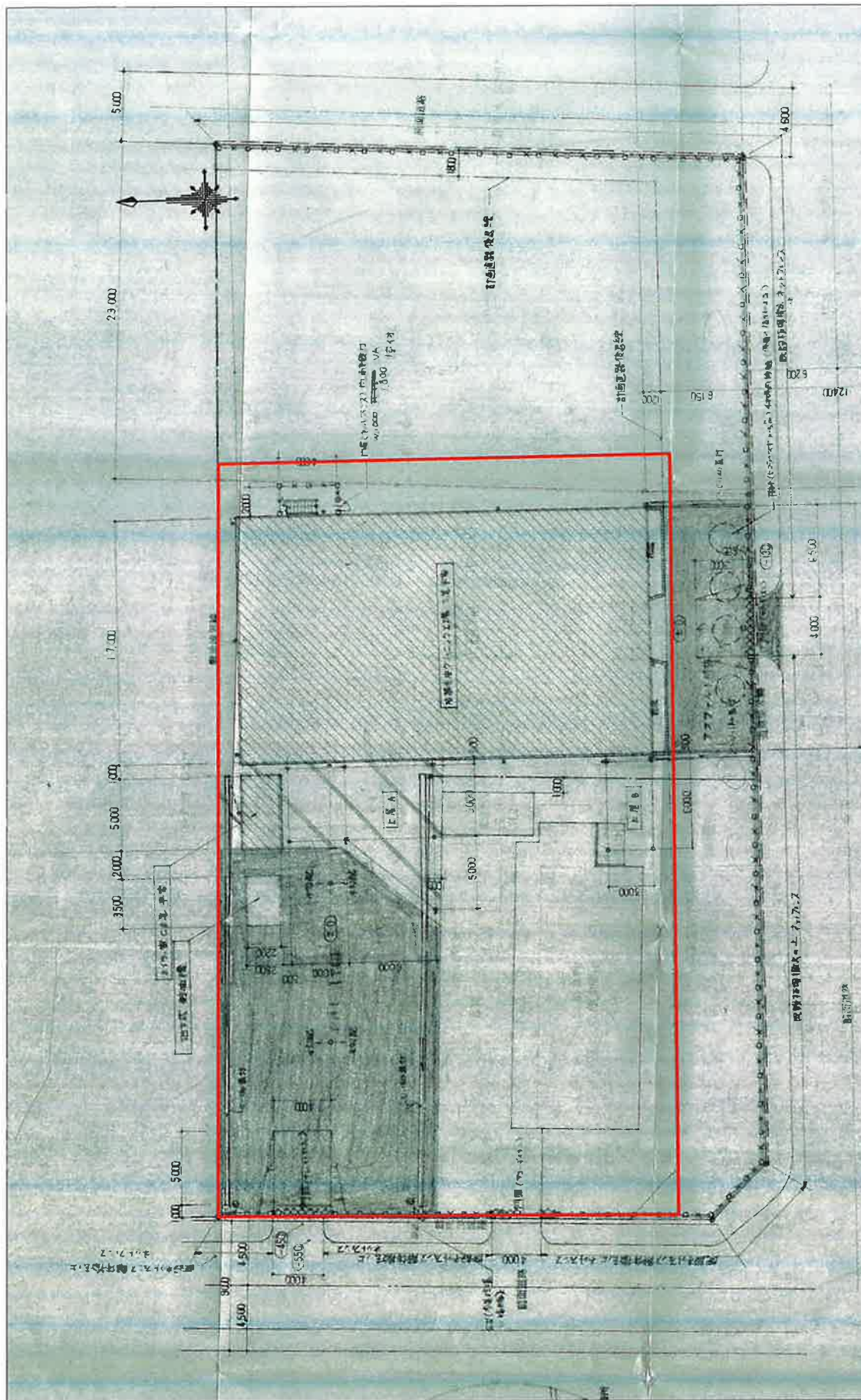
平成 27 年 11 月 27 日～12 月 9 日：公定法分析



● 調査対象地

「国土地理院；地理院地図に加筆」

図 1.1 調査対象地周辺図



凡例
 : 調査対象範囲

図1.2 調査対象範囲

2 土地の履歴調査

2.1 土地の利用履歴等

2.1.1 調査方法

地歴調査では、可能な限り過去に遡り、対象地における土壌の特定有害物質による汚染のおそれを推定するために必要な土地の利用履歴や特定有害物質の取扱状況（埋設等、使用等または貯蔵等）及び土壌・地下水の汚染の概況等の情報を、資料調査及び聴取調査ならびに現地調査を実施することにより、入手・把握した。

2.1.2 土地の利用履歴概要

対象地において、企業組合大阪ホールセールが皮革毛皮クリーニング業を営んでいた。企業組合大阪ホールセールは、平成 12 年に廃業となり平成 26 年 10 月 24 日付で東大阪市に対して東大阪市生活環境保全等に関する条例第 33 条の規定に基づく「指定工場等廃止届出書」が提出された。

なお、詳細については「旧企業組合大阪ホールセール土壌汚染調査業務 地歴調査報告書」（以下、「地歴調査報告書」という。）に示されるとおりである。

2.2 特定有害物質の使用履歴

対象地においては過去にテトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、ベンゼン、ふっ素及びその化合物の使用及び保管等をしていた。上記以外の特定有害物質については使用等の履歴はなかった。

なお、対象地における特定有害物質の使用及び保管等の場所及びその他詳細については、「地歴調査報告書」に示されるとおりである。

2.3 履歴調査結果

以上の土地の利用履歴等調査の結果、対象地ではテトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、ベンゼン、ふっ素及びその化合物による土壌汚染のおそれがあると判断した。また、他の特定有害物質による土壌汚染のおそれはないと判断した。

3 調査対象物質の選定

「2 土地の履歴調査」の結果により、以下の物質を調査対象物質として選定した。

- ・ テトラクロロエチレン及びその分解生成物
(1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン)
- ・ 1,1,1-トリクロロエタン及びその分解生成物 (1,1-ジクロロエチレン)
- ・ ベンゼン
- ・ ふっ素及びその化合物

法に定められる特定有害物質及び区域の指定に係る基準（以下「指定基準」という。）を表 3.1 に示す。なお、第一種特定有害物質については土壌ガス調査を実施し、検出された場合は土壌溶出量調査を実施する。

表 3.1 特定有害物質の種類及び指定基準

分類	特定有害物質の種類	土壌溶出量基準	土壌含有量基準	地下水基準	第二溶出量基準	試料採取等の対象
第一種特定有害物質	四塩化炭素	0.002mg/L 以下		0.002mg/L 以下	0.02mg/L 以下	対象外
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L 以下		0.004mg/L 以下	0.04mg/L 以下	対象外
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下		0.1mg/L 以下	1mg/L 以下	対象
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下		0.04mg/L 以下	0.4mg/L 以下	対象
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L 以下		0.002mg/L 以下	0.02mg/L 以下	対象外
	ジクロロメタン	0.02mg/L 以下		0.02mg/L 以下	0.2mg/L 以下	対象外
	テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下		0.01mg/L 以下	0.1mg/L 以下	対象
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L 以下		1mg/L 以下	3mg/L 以下	対象
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L 以下		0.006mg/L 以下	0.06mg/L 以下	対象外
	トリクロロエチレン	0.03mg/L 以下		0.03mg/L 以下	0.3mg/L 以下	対象
	ベンゼン	0.01mg/L 以下		0.01mg/L 以下	0.1mg/L 以下	対象
第二種特定有害物質	カドミウム及びその化合物	0.01mg/L 以下	150mg/kg 以下	0.01mg/L 以下	0.3mg/L 以下	対象外
	六価クロム化合物	0.05mg/L 以下	250mg/kg 以下	0.05mg/L 以下	1.5mg/L 以下	対象外
	シアン化合物	検出されないこと※	50mg/kg 以下	検出されないこと※	1mg/L 以下	対象外
	水銀及びその化合物	0.0005mg/L 以下 かつアルキル水銀が 検出されないこと※	15mg/kg 以下	0.0005mg/L 以下 かつアルキル水銀が 検出されないこと※	0.0005mg/L 以下 かつアルキル水銀が 検出されないこと※	対象外
	セレン及びその化合物	0.01mg/L 以下	150mg/kg 以下	0.01mg/L 以下	0.3mg/L 以下	対象外
	鉛及びその化合物	0.01mg/L 以下	150mg/kg 以下	0.01mg/L 以下	0.3mg/L 以下	対象外
	砒素及びその化合物	0.01mg/L 以下	150mg/kg 以下	0.01mg/L 以下	0.3mg/L 以下	対象外
	ふっ素及びその化合物	0.8mg/L 以下	4000mg/kg 以下	0.8mg/L 以下	24mg/L 以下	対象
第三種特定有害物質	ほう素及びその化合物	1mg/L 以下	4000mg/kg 以下	1mg/L 以下	30mg/L 以下	対象外
	シマジン	0.003mg/L 以下		0.003mg/L 以下	0.03mg/L 以下	対象外
	チオベンカルブ	0.02mg/L 以下		0.02mg/L 以下	0.2mg/L 以下	対象外
	チウラム	0.006mg/L 以下		0.006mg/L 以下	0.06mg/L 以下	対象外
	ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと※		検出されないこと※	0.003mg/L 以下	対象外
	有機りん化合物	検出されないこと※		検出されないこと※	1mg/L 以下	対象外

※「検出されないこと」とは、定められた測定方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量下限値を下回ることという。

4 土壤汚染のおそれによる土地の分類

4.1 汚染のおそれが生じた場所の位置

操業当時の状況が不明であるため、全ての試料採取等対象物質について現況地表面（GL）を汚染のおそれが生じた場所の位置とした。

4.2 土壤汚染のおそれの区分の分類

調査対象範囲を以下の3種類に区分した。

①土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地

②土壤汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地

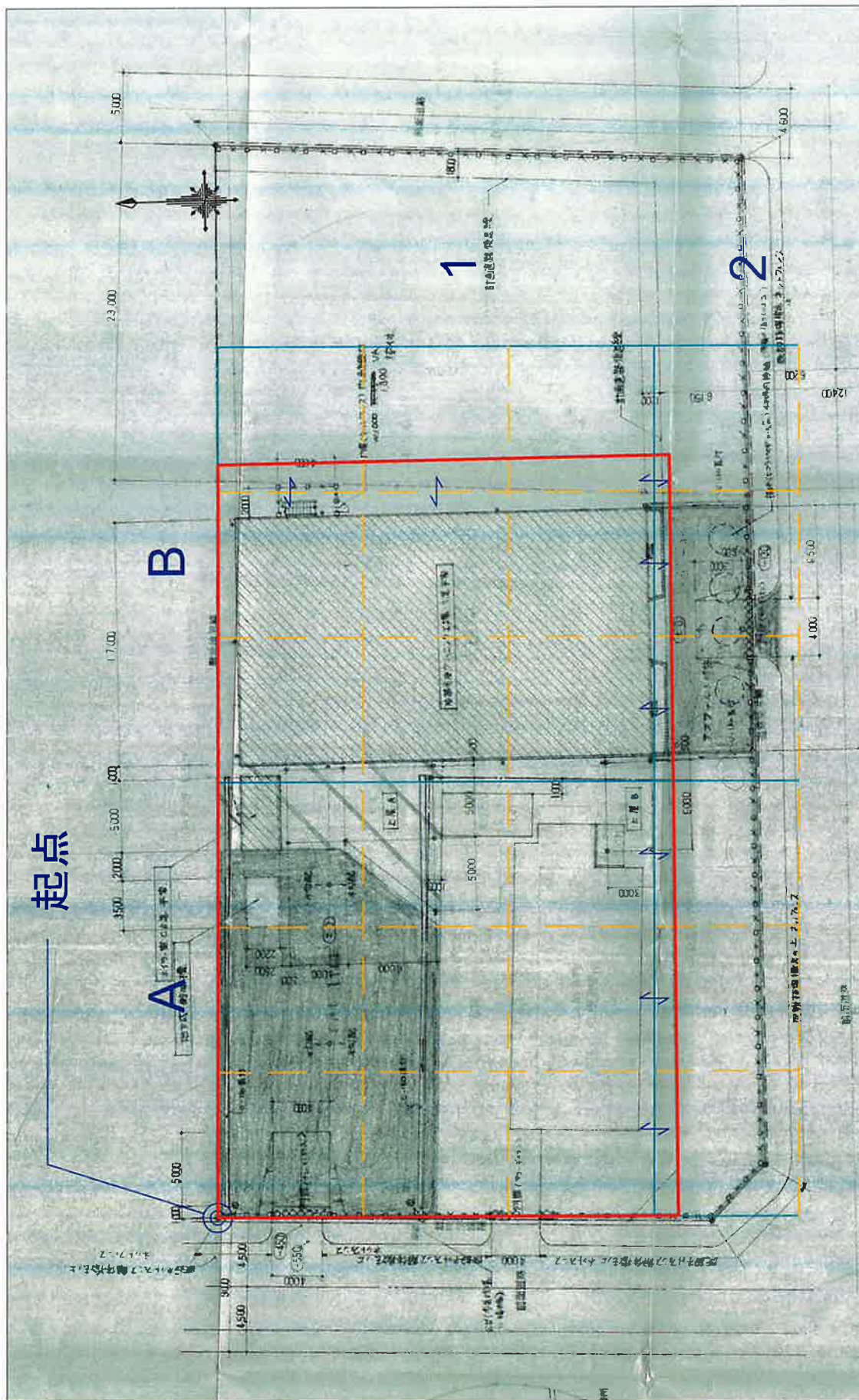
③土壤汚染が存在するおそれがないと認められる土地

4.2.1 テトラクロロエチレン及びその分解生成物、1,1,1-トリクロロエタン及びその分解生成物、ベンゼン、ふっ素及びその化合物

操業当時の状況が不明であるため、全ての試料採取等対象物質について調査対象範囲全域を「土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地」とした。現況地表面に対する土壤汚染のおそれの区分を図4.1に示す。

5 単位区画の設定

調査対象地の最北端（敷地北西角）を起点として、東西方向及び南北方向に10m間隔で引いた線を右回りに1° 35′ 回転させて、調査対象地を単位区画に区分した。なお、隣接する区画の合計面積が130m² を超えない複数の区画は、1つの区画に統合した。このような設定により区画設定を行った結果、本調査を実施する単位区画は16区画となった。単位区画の設定を図5.1に、設定した各単位区画の面積と区画する線に垂直に投影したときの長さを表5.1に示す。



凡例

- : 調査対象範囲
- ↔ : 区画の統合

区画番号

1	2	3
4	5	6
7	8	9

0 10m

図5.1 単位区画の設定

表 5.1 設定した各単位区画の面積と区画する線に垂直に投影したときの長さ

単位区画	面積(m ²)	区画の統合	区画する線に垂直に 投影したときの長さ(m)
A1-1	99.91	—	10.0
A1-2	100.00	—	10.0
A1-3	100.00	—	10.0
A1-4	99.74	—	10.0
A1-5	100.00	—	10.0
A1-6	100.00	—	10.0
A1-7	115.62	A2-1 を統合	11.7
A1-8	114.94	A2-2 を統合	11.6
A1-9	113.73	A2-3 を統合	11.4
B1-1	100.00	—	10.0
B1-2	119.58	B1-3 を統合	12.1
B1-4	100.00	—	10.0
B1-5	121.56	B1-6 を統合	12.3
B1-7	112.53	B2-1 を統合	11.3
B1-8	111.32	B2-2 を統合	11.2
B1-9	26.15	B2-3 を統合	11.1
合計	1635.08	—	—

6 試料採取地点の設定

6.1 テトラクロロエチレン及びその分解生成物

6.1.1 土壤汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点

現況地表面に対しての土壤汚染のおそれの区分の分類を重ね合わせて単位区画の分類を行った上で、「土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地」を含む単位区画（全部対象区画）について、単位区画に1地点で土壤ガス試料を採取した。

試料採取地点は、単位区画内で土壤汚染が存在するおそれがより多い地点とした。単位区画全体で土壤汚染が存在するおそれが同等と考えられる場合は、他の試料採取等対象物質の汚染のおそれがより多い地点と共有の試料採取地点とした。なお、それらの地点に障害物等が存在する区画においては、同一単位区画内において試料採取地点の移動を行った。

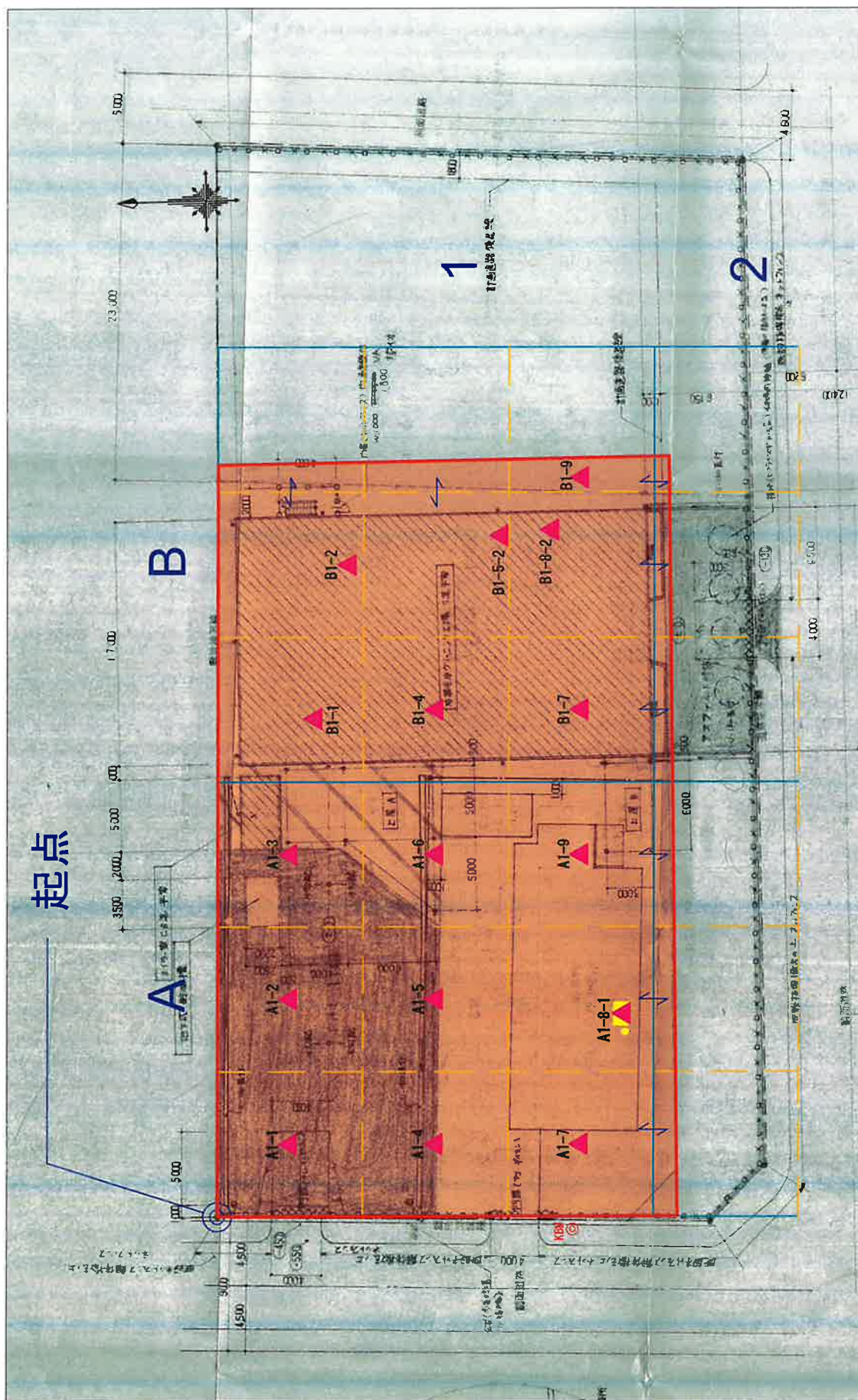
土壤ガス試料採取地点（テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン）を図6.1に示す。

6.1.2 試料採取地点表

土壤ガス試料採取地点（テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン）を表6.1に示す。

表 6.1 土壤ガス試料採取地点
(テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン)
(シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	面積 (m ²)	区画の 統合	区画の 分類	試料 採取数	試料採取位置
A1	A1-1	A1-1	99.91	—	全部 対象 区画	1	区画の中心
	A1-2	A1-2	100.00	—		1	区画の中心
	A1-3	A1-3	100.00	—		1	区画の中心
	A1-4	A1-4	99.74	—		1	区画の中心
	A1-5	A1-5	100.00	—		1	区画の中心
	A1-6	A1-6	100.00	—		1	区画の中心
	A1-7	A1-7	115.62	A2-1 を統合		1	区画の中心
	A1-8	A1-8-1	114.94	A2-2 を統合		1	テトラクロロエチレン使用設備
	A1-9	A1-9	113.73	A2-3 を統合		1	区画の中心
B1	B1-1	B1-1	100.00	—		1	ふっ素及びその化合物使用設備
	B1-2	B1-2	119.58	B1-3 を統合		1	区画の中心から南へ4.0m 移動
	B1-4	B1-4	100.00	—		1	区画の中心
	B1-5	B1-5-2	121.56	B1-6 を統合	1	1, 1, 1-トリクロロエタン使用設備	
	B1-7	B1-7	112.53	B2-1 を統合	1	区画の中心	
	B1-8	B1-8-2	111.32	B2-2 を統合	1	ベンゼン使用設備	
	B1-9	B2-2	26.15	B2-3 を統合	1	区画の中心	
合計	16 区画	16 地点	1635.08	—	—	16	—



凡例

□ : 調査対象範囲

■ : 土壌汚染のおそれ比較的多いと認められる土地を含む単位区画

■ : テトラクロロエチレン使用設備跡

▲ : 土壌ガス試料採取地点

→ : 区画の統合

区画番号

1	2	3
4	5	6
7	8	9

図6.1 土壌ガス試料採取地点

(テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン)

6.2 1,1,1-トリクロロエタン及びその分解生成物

6.2.1 土壤汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点

現況地表面に対しての土壤汚染のおそれの区分の分類を重ね合わせて単位区画の分類を行った上で、「土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地」を含む単位区画（全部対象区画）について、単位区画に1地点で土壤ガス試料を採取した。

試料採取地点は、単位区画内で土壤汚染が存在するおそれがより多い地点とした。単位区画全体で土壤汚染が存在するおそれが同等と考えられる場合は、他の試料採取等対象物質の汚染のおそれがより多い地点と共有の試料採取地点とした。なお、それらの地点に障害物等が存在する区画においては、同一単位区画内において試料採取地点の移動を行った。

土壤ガス試料採取地点（1,1,1-トリクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン）を図6.2に示す。

6.2.2 試料採取地点表

土壤ガス試料採取地点（1,1,1-トリクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン）を表6.2に示す。

表 6.2 土壤ガス試料採取地点
(1,1,1-トリクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	面積 (m ²)	区画の 統合	区画の 分類	試料 採取数	試料採取位置
A1	A1-1	A1-1	99.91	—	全部 対象 区画	1	区画の中心
	A1-2	A1-2	100.00	—		1	区画の中心
	A1-3	A1-3	100.00	—		1	区画の中心
	A1-4	A1-4	99.74	—		1	区画の中心
	A1-5	A1-5	100.00	—		1	区画の中心
	A1-6	A1-6	100.00	—		1	区画の中心
	A1-7	A1-7	115.62	A2-1 を統合		1	区画の中心
	A1-8	A1-8-1	114.94	A2-2 を統合		1	テトラクロロエチレン使用設備
	A1-9	A1-9	113.73	A2-3 を統合		1	区画の中心
B1	B1-1	B1-1	100.00	—		1	ふっ素及びその化合物使用設備
	B1-2	B1-2	119.58	B1-3 を統合		1	区画の中心から南へ 4.0m 移動
	B1-4	B1-4	100.00	—		1	区画の中心
	B1-5	B1-5-2	121.56	B1-6 を統合		1	1, 1, 1-トリクロロエタン使用設備
	B1-7	B1-7	112.53	B2-1 を統合		1	区画の中心
	B1-8	B1-8-1	111.32	B2-2 を統合		1	1, 1, 1-トリクロロエタン使用設備
	B1-9	B2-2	26.15	B2-3 を統合		1	区画の中心
合計	16 区画	16 地点	1635.08	—	—	16	—

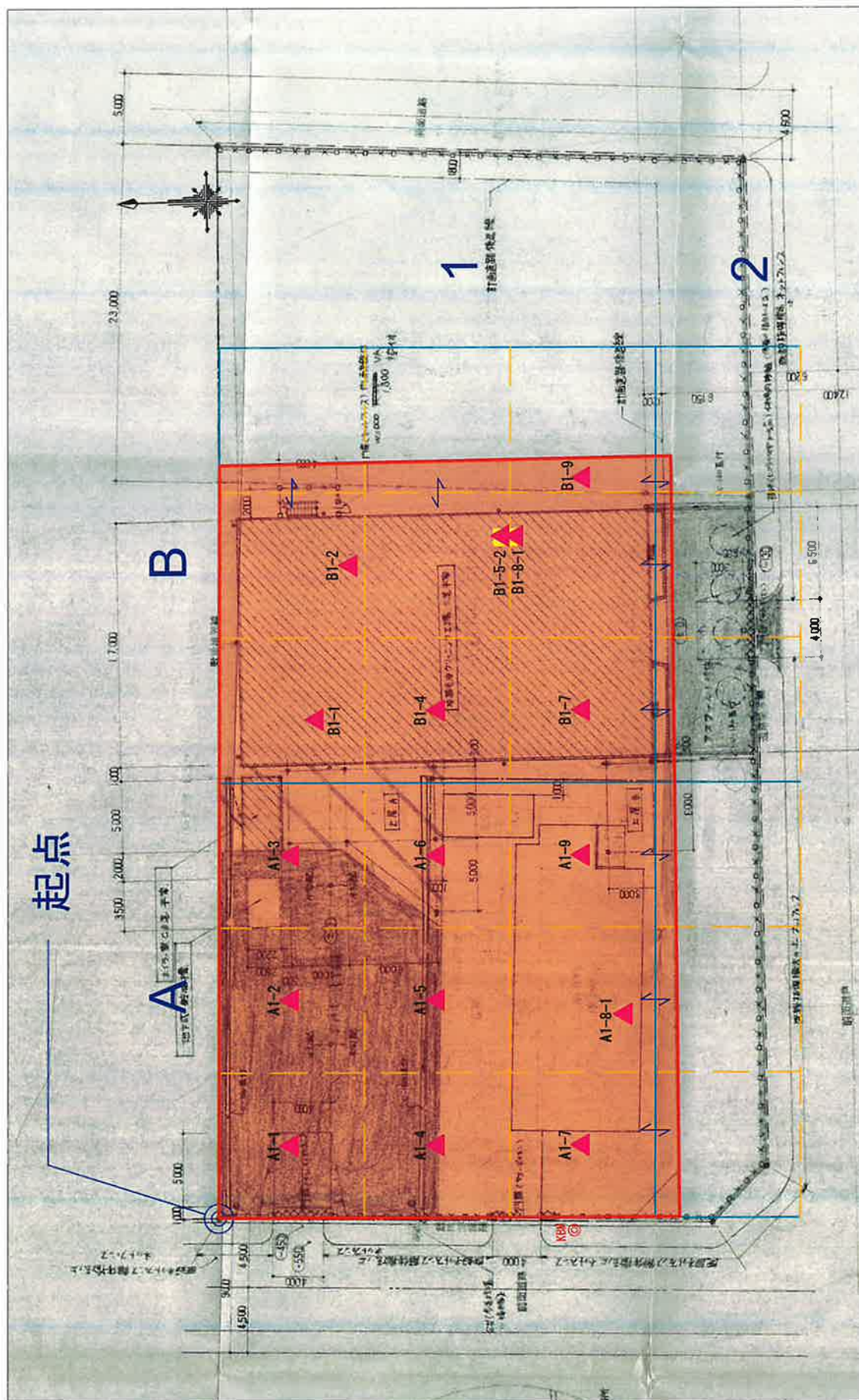


図6.2 土壌ガス試料採取地点（1,1,1-トリクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン）

6.3 ベンゼン

6.3.1 土壌汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点

現況地表面に対しての土壌汚染のおそれの区分の分類を重ね合わせて単位区画の分類を行った上で、「土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地」を含む単位区画（全部対象区画）について、単位区画に1地点で土壌ガス試料を採取した。

試料採取地点は、単位区画内で土壌汚染が存在するおそれがより多い地点とした。単位区画全体で土壌汚染が存在するおそれが同等と考えられる場合は、他の試料採取等対象物質の汚染のおそれがより多い地点と共有の試料採取地点とした。なお、それらの地点に障害物等が存在する区画においては、同一単位区画内において試料採取地点の移動を行った。

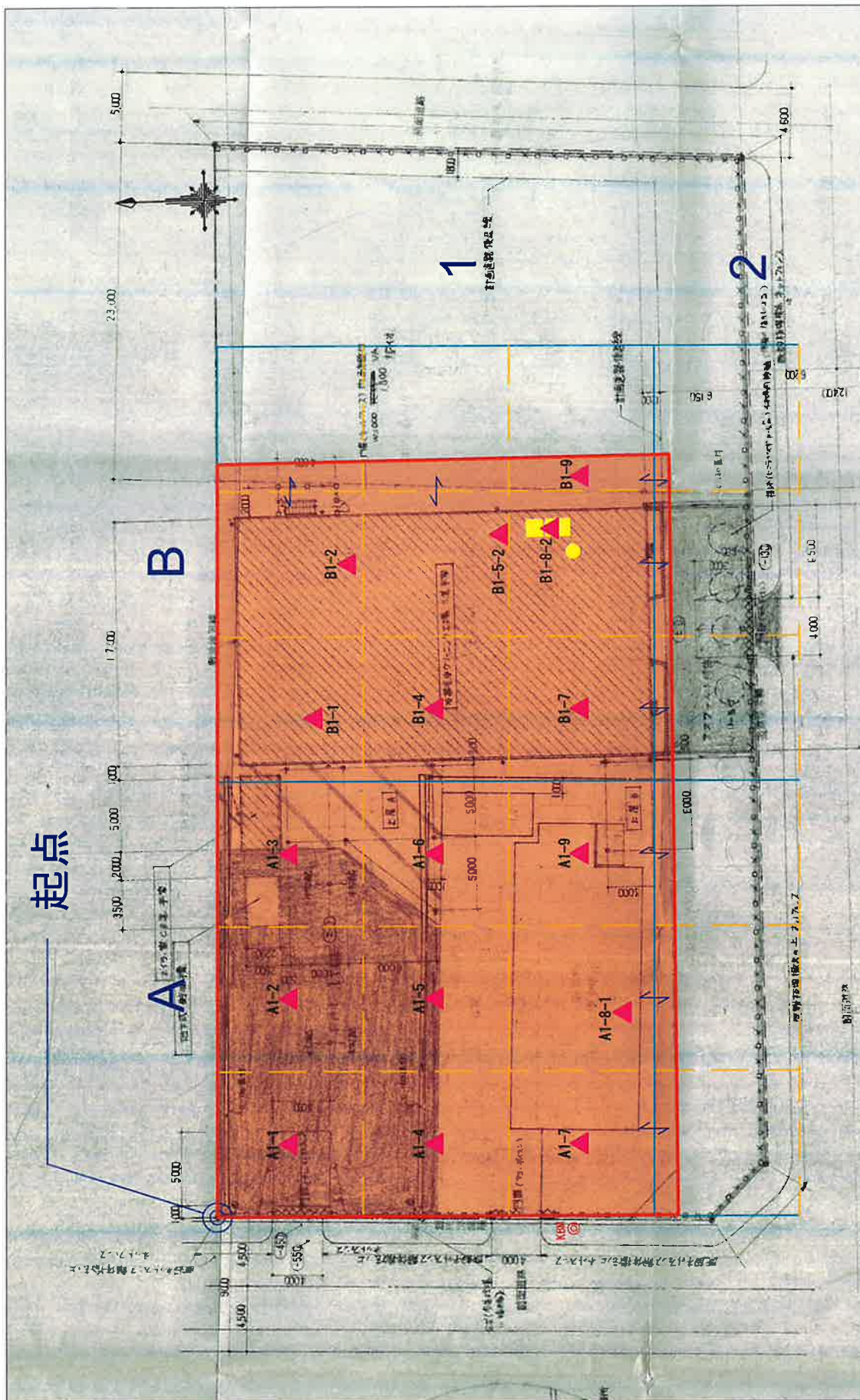
土壌ガス試料採取地点（ベンゼン）を図6.3に示す。

6.3.2 試料採取地点表

土壌ガス試料採取地点（ベンゼン）を表6.3に示す。

表 6.3 土壌ガス試料採取地点
(ベンゼン)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	面積 (m ²)	区画の 統合	区画の 分類	試料 採取数	試料採取位置
A1	A1-1	A1-1	99.91	—	全部 対象 区画	1	区画の中心
	A1-2	A1-2	100.00	—		1	区画の中心
	A1-3	A1-3	100.00	—		1	区画の中心
	A1-4	A1-4	99.74	—		1	区画の中心
	A1-5	A1-5	100.00	—		1	区画の中心
	A1-6	A1-6	100.00	—		1	区画の中心
	A1-7	A1-7	115.62	A2-1を統合		1	区画の中心
	A1-8	A1-8-1	114.94	A2-2を統合		1	テトラクロロエチレン使用設備
	A1-9	A1-9	113.73	A2-3を統合		1	区画の中心
B1	B1-1	B1-1	100.00	—	全部 対象 区画	1	ふっ素及びその化合物使用設備
	B1-2	B1-2	119.58	B1-3を統合		1	区画の中心から南へ4.0m移動
	B1-4	B1-4	100.00	—		1	区画の中心
	B1-5	B1-5-2	121.56	B1-6を統合		1	1,1,1-トリクロロエタン使用設備
	B1-7	B1-7	112.53	B2-1を統合		1	区画の中心
	B1-8	B1-8-2	111.32	B2-2を統合		1	ベンゼン使用設備
	B1-9	B2-2	26.15	B2-3を統合		1	区画の中心
合計	16 区画	16 地点	1635.08	—	—	16	—



凡例

□ : 調査対象範囲

□ : 土壌汚染のおそれ比較的多いと認められる土地を含む単位区画

■ : ベンゼン使用設備跡

▲ : 土壌ガス試料採取地点

→ : 区画の統合

区画番号

1	2	3
4	5	6
7	8	9

図6.3 土壌ガス試料採取地点（ベンゼン）

6.4 ふっ素及びその化合物

6.4.1 土壤汚染のおそれの区分の分類に基づく単位区画の分類及び試料採取地点

現況地表面に対しての土壤汚染のおそれの区分の分類を重ね合わせて単位区画の分類を行った上で、「土壤汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地」を含む単位区画（全部対象区画）について、単位区画に1地点で土壤試料を採取した。

試料採取地点は、単位区画内で土壤汚染が存在するおそれがより多い地点とした。単位区画全体で土壤汚染が存在するおそれが同等と考えられる場合は、他の試料採取等対象物質の汚染のおそれがより多い地点と共有の試料採取地点とした。なお、それらの地点に障害物等が存在する区画においては、同一単位区画内において試料採取地点の移動を行った。

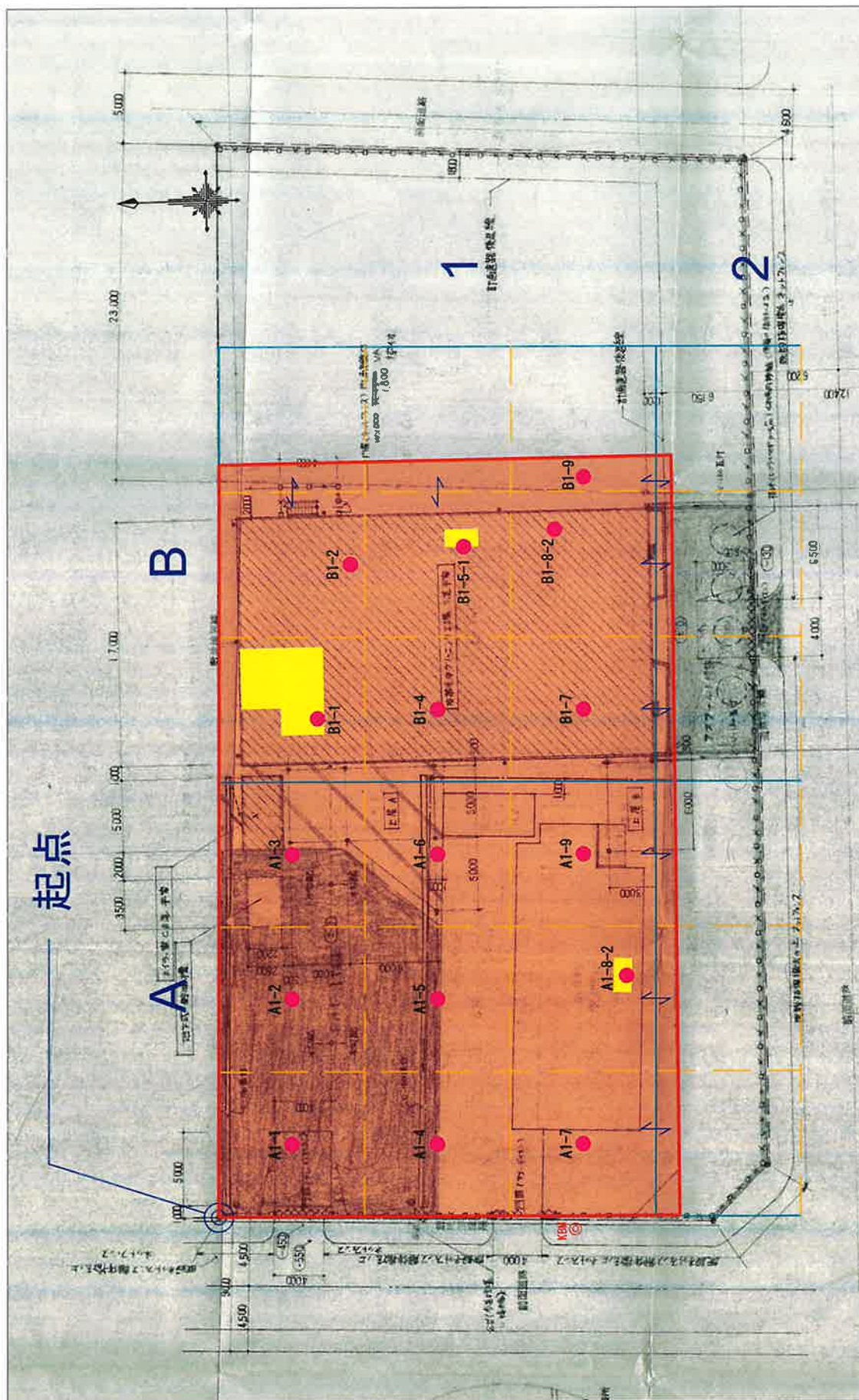
土壤試料採取地点（ふっ素及びその化合物）を図6.4に示す。

6.4.2 試料採取地点表

土壤試料採取地点（ふっ素及びその化合物）を表6.4に示す。

表 6.4 土壤試料採取地点
(ふっ素及びその化合物)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	面積 (m ²)	区画の 統合	区画の 分類	試料 採取数	試料採取位置
A1	A1-1	A1-1	99.91	—	全部 対象 区画	1	区画の中心
	A1-2	A1-2	100.00	—		1	区画の中心
	A1-3	A1-3	100.00	—		1	区画の中心
	A1-4	A1-4	99.74	—		1	区画の中心
	A1-5	A1-5	100.00	—		1	区画の中心
	A1-6	A1-6	100.00	—		1	区画の中心
	A1-7	A1-7	115.62	A2-1を統合		1	区画の中心
	A1-8	A1-8-2	114.94	A2-2を統合		1	ふっ素及びその化合物使用設備
	A1-9	A1-9	113.73	A2-3を統合		1	区画の中心
B1	B1-1	B1-1	100.00	—		1	ふっ素及びその化合物使用設備
	B1-2	B1-2	119.58	B1-3を統合		1	区画の中心から南へ4.0m移動
	B1-4	B1-4	100.00	—		1	区画の中心
	B1-5	B1-5-1	121.56	B1-6を統合		1	ふっ素及びその化合物使用設備
	B1-7	B1-7	112.53	B2-1を統合		1	区画の中心
	B1-8	B1-8-2	111.32	B2-2を統合		1	ベンゼン使用設備
	B1-9	B2-2	26.15	B2-3を統合		1	区画の中心
合計	16 区画	16 地点	1635.08	—	—	16	—



凡例

□ : 調査対象範囲

■ : 土壌汚染のおそれ比較的多いと認められる土地を含む単位区画

■ : ふっ素及びその化合物使用設備跡

● : 土壌試料採取地点

↔ : 区画の統合

区画番号

1	2	3
4	5	6
7	8	9

図6.4 土壌試料採取地点（ふっ素及びその化合物）

7 試料採取方法・測定方法

次の方法で実施した。

なお、敷地西側歩道上の汚水人孔（調査対象範囲外）を仮ベンチマーク（KBM）に設定し、標高管理を行った。

7.1 第一種特定有害物質（土壌ガス）

平成15年3月6日環境省告示第16号で定める方法に基づき、各試料採取地点において土壌ガス試料を採取し、GC-PID/ELCD 法により現地分析を実施した。

調査は、以下のとおり実施した。

- 1) ハンマードリル又はボーリングバーで現況地表面下約1.0mまで削孔した。
- 2) ステンレスの材質による保護管・採取管を約80cm挿入した。
- 3) 舗装面との間は粘土等を用いて密閉し、30分以上静置した。
- 4) 捕集バッグ法（図7.1）で土壌ガスを採取した。
- 5) 検出下限値を0.1volppm（ベンゼンは0.05volppm）として現地で分析した。

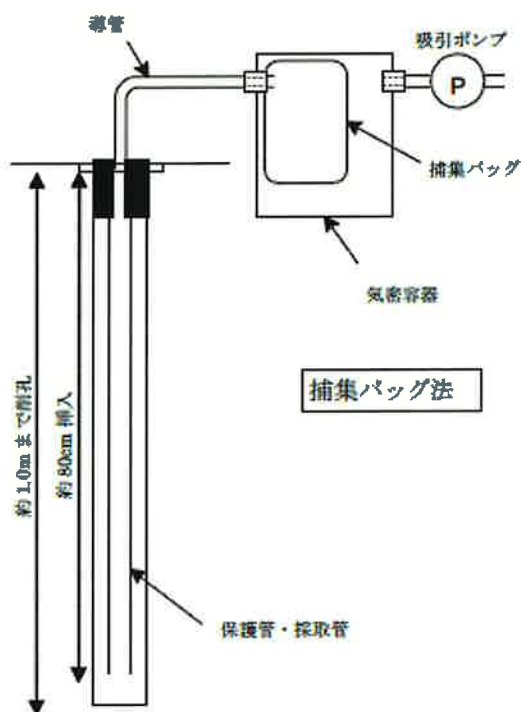


図7.1 土壌ガス試料採取方法

7.2 ふっ素及びその化合物

平成 15 年 3 月 6 日環境省告示第 18 号及び第 19 号で定める方法に基づき、試料採取及び測定を実施した。

各試料採取地点において、地表～深さ 5cm の土壌と深さ 5～50cm までの土壌を採取した。地表～深さ 5cm の土壌と深さ 5～50cm までの土壌を等量混合した土壌を分析試料とし、土壌溶出量調査及び土壌含有量調査を実施した。

なお、試料採取地点の地表面がコンクリートやアスファルト等で被覆されている場合やアスファルト等の下に碎石や砂利がある場合、落葉落枝及びその腐朽物等がある場合は、それらを除いた土壌表面を基準面とした。土壌試料採取方法の概念図を図 7.2 に示す。

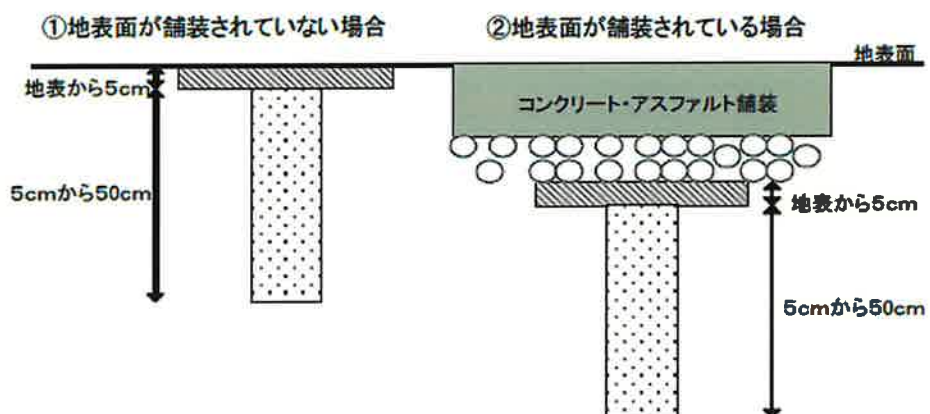


図7.2 土壌試料採取方法概念図

7.3 調査数量

調査数量を表7.1に示す。

表7.1 調査数量

調査		数量	
テトラクロロエチレン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン	土壌ガス採取	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1地点	計16地点
	GC-PID/ELCDによる現地分析 (検出時は土壌溶出量調査)	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1検体	計16検体
1,1,1-トリクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン	土壌ガス採取	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1地点	計16地点
	GC-PID/ELCDによる現地分析 (検出時は土壌溶出量調査)	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1検体	計16検体
ベンゼン	土壌ガス採取	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1地点	計16地点
	GC-PID/ELCDによる現地分析 (検出時は土壌溶出量調査)	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1検体	計16検体
ふっ素及びその化合物	土壌試料採取	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1地点	計16地点
	土壌溶出量調査 土壌含有量調査	全部対象区画:対象地を区分した 単位区画につき1検体	計16検体

8 調査結果

8.1 テトラクロロエチレン及びその分解生成物

8.1.1 土壌ガス調査結果

測定の結果、テトラクロロエチレン及びその分解生成物はすべての地点で不検出であった。土壌ガス調査結果を表 8.1 に示す。

表 8.1 土壌ガス調査結果
(テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン)
(シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	標高 (KBM m)	テトラクロロ エチレン (volppm)	1,1- ジクロロ エチレン (volppm)	シス-1,2- ジクロロ エチレン (volppm)	トリクロロ エチレン (volppm)
A1	A1-1	A1-1	+0.33	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-2	A1-2	+0.44	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-3	A1-3	+0.47	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-4	A1-4	+0.33	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-5	A1-5	+0.41	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-6	A1-6	+0.45	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-7	A1-7	+0.34	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-8	A1-8-1	+0.54	不検出	不検出	不検出	不検出
	A1-9	A1-9	+0.53	不検出	不検出	不検出	不検出
B1	B1-1	B1-1	+0.87	不検出	不検出	不検出	不検出
	B1-2	B1-2	+0.86	不検出	不検出	不検出	不検出
	B1-4	B1-4	+0.87	不検出	不検出	不検出	不検出
	B1-5	B1-5-2	+0.89	不検出	不検出	不検出	不検出
	B1-7	B1-7	+0.86	不検出	不検出	不検出	不検出
	B1-8	B1-8-2	+0.86	不検出	不検出	不検出	不検出
	B1-9	B2-2	+0.71	不検出	不検出	不検出	不検出
定量下限値 (volppm)				0.1	0.1	0.1	0.1

※不検出：定量下限値未満を示す

8.2 1, 1, 1-トリクロロエタン及びその分解生成物

8.2.1 土壌ガス調査結果

測定の結果、1, 1, 1-トリクロロエタン及びその分解生成物はすべての地点で不検出であった。土壌ガス調査結果を表 8.2 に示す。

表 8.2 土壌ガス調査結果
(1, 1, 1-トリクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	標高 (KBM m)	1, 1, 1- トリクロロ エタン (volppm)	1, 1- ジクロロ エチレン (volppm)
A1	A1-1	A1-1	+0.33	不検出	不検出
	A1-2	A1-2	+0.44	不検出	不検出
	A1-3	A1-3	+0.47	不検出	不検出
	A1-4	A1-4	+0.33	不検出	不検出
	A1-5	A1-5	+0.41	不検出	不検出
	A1-6	A1-6	+0.45	不検出	不検出
	A1-7	A1-7	+0.34	不検出	不検出
	A1-8	A1-8-1	+0.54	不検出	不検出
	A1-9	A1-9	+0.53	不検出	不検出
B1	B1-1	B1-1	+0.87	不検出	不検出
	B1-2	B1-2	+0.86	不検出	不検出
	B1-4	B1-4	+0.87	不検出	不検出
	B1-5	B1-5-2	+0.89	不検出	不検出
	B1-7	B1-7	+0.86	不検出	不検出
	B1-8	B1-8-1	+0.89	不検出	不検出
	B1-9	B2-2	+0.71	不検出	不検出
定量下限値(volppm)				0.1	0.1

※不検出：定量下限値未満を示す

8.3 ベンゼン

8.3.1 土壌ガス調査結果

測定の結果、ベンゼンはすべての地点で不検出であった。土壌ガス調査結果を表 8.3 に示す。

表 8.3 土壌ガス調査結果
(ベンゼン)

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	標高 (KBM m)	ベンゼン (volppm)
A1	A1-1	A1-1	+0.33	不検出
	A1-2	A1-2	+0.44	不検出
	A1-3	A1-3	+0.47	不検出
	A1-4	A1-4	+0.33	不検出
	A1-5	A1-5	+0.41	不検出
	A1-6	A1-6	+0.45	不検出
	A1-7	A1-7	+0.34	不検出
	A1-8	A1-8-1	+0.54	不検出
	A1-9	A1-9	+0.53	不検出
B1	B1-1	B1-1	+0.87	不検出
	B1-2	B1-2	+0.86	不検出
	B1-4	B1-4	+0.87	不検出
	B1-5	B1-5-2	+0.89	不検出
	B1-7	B1-7	+0.86	不検出
	B1-8	B1-8-2	+0.86	不検出
	B1-9	B2-2	+0.71	不検出
定量下限値 (volppm)				0.05

※不検出：定量下限値未満を示す

8.4 ふっ素及びその化合物

8.4.1 土壌溶出量調査結果

土壌溶出量調査の結果、すべての試料が土壌溶出量基準に適合していた。土壌溶出量調査結果を表 8.4 に示す。

表 8.4 土壌溶出量調査結果（ふっ素及びその化合物）

30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	標高 (KBM m)	ふっ素及び その化合物 (mg/L)
A1	A1-1	A1-1	+0.33	0.28
	A1-2	A1-2	+0.44	0.21
	A1-3	A1-3	+0.47	0.11
	A1-4	A1-4	+0.33	0.74
	A1-5	A1-5	+0.41	0.34
	A1-6	A1-6	+0.45	0.27
	A1-7	A1-7	+0.34	0.28
	A1-8	A1-8-2	+0.55	0.58
	A1-9	A1-9	+0.53	0.49
B1	B1-1	B1-1	+0.87	0.69
	B1-2	B1-2	+0.86	0.70
	B1-4	B1-4	+0.87	0.41
	B1-5	B1-5-1	+0.89	0.31
	B1-7	B1-7	+0.86	0.53
	B1-8	B1-8-2	+0.86	0.60
	B1-9	B2-2	+0.71	0.08 未満
指定基準				0.8
定量下限値				0.08

8.4.2 土壌含有量調査結果

土壌含有量調査の結果、すべての試料が土壌含有量基準に適合していた。土壌含有量調査結果を表 8.5 に示す。

表 8.5 土壌含有量調査結果（ふっ素及びその化合物）

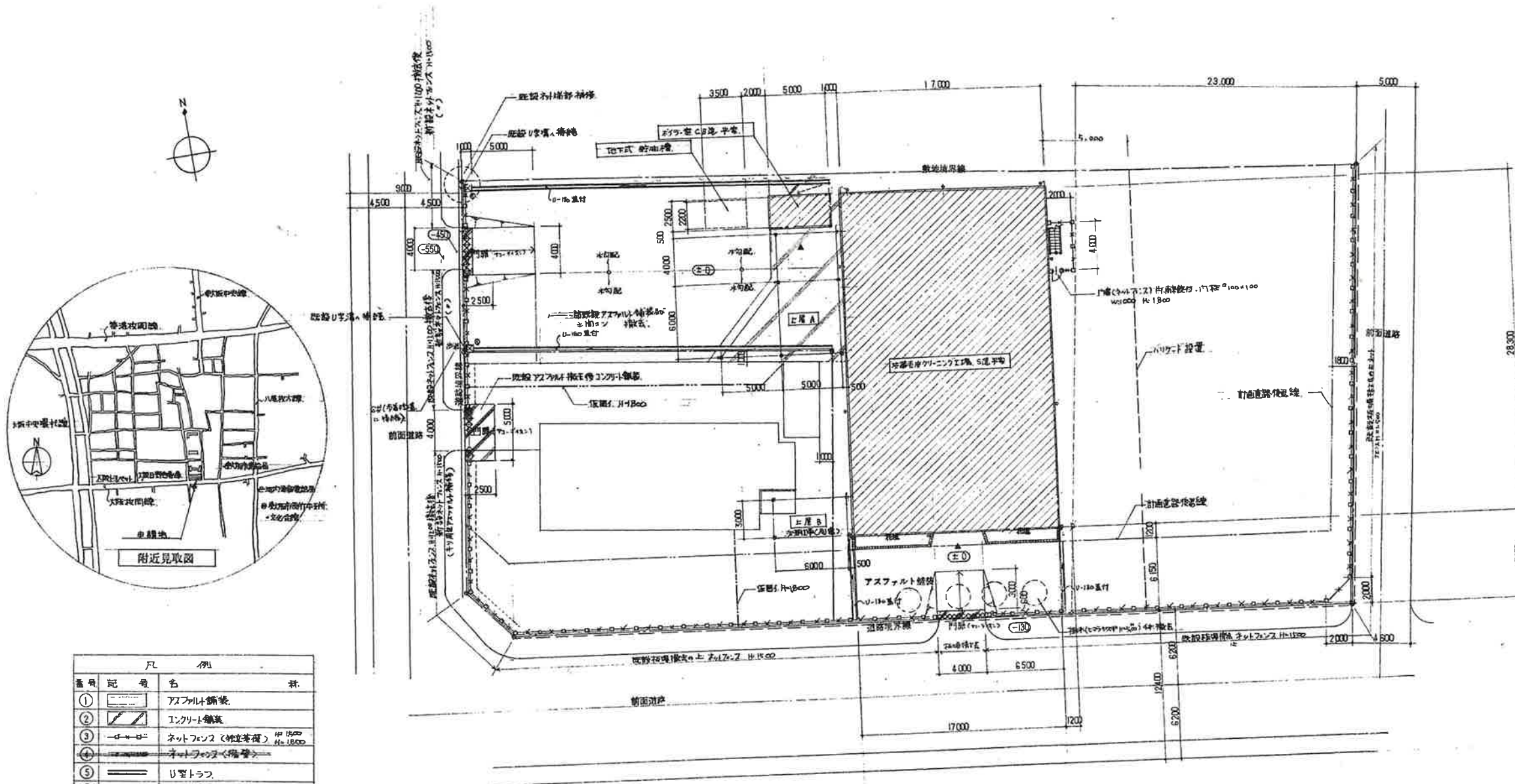
30m 格子	単位 区画	試料採取 地点	標高 (KBM m)	ふっ素及び その化合物 (mg/kg)
A1	A1-1	A1-1	+0.33	53
	A1-2	A1-2	+0.44	50 未満
	A1-3	A1-3	+0.47	63
	A1-4	A1-4	+0.33	120
	A1-5	A1-5	+0.41	50 未満
	A1-6	A1-6	+0.45	58
	A1-7	A1-7	+0.34	50 未満
	A1-8	A1-8-2	+0.55	50 未満
	A1-9	A1-9	+0.53	57
B1	B1-1	B1-1	+0.87	50 未満
	B1-2	B1-2	+0.86	50 未満
	B1-4	B1-4	+0.87	50 未満
	B1-5	B1-5-1	+0.89	53
	B1-7	B1-7	+0.86	50 未満
	B1-8	B1-8-2	+0.86	50 未満
	B1-9	B2-2	+0.71	50 未満
指定基準				4000
定量下限値				50

9 評価

土壌ガス調査の結果、選定した調査対象物質はすべての地点で不検出であった。

土壌溶出量調査、土壌含有量調査の結果、選定した調査対象物質はすべての地点で指定基準以下であった。

以上のことから、調査対象地における土壌汚染は無いものと判断する。

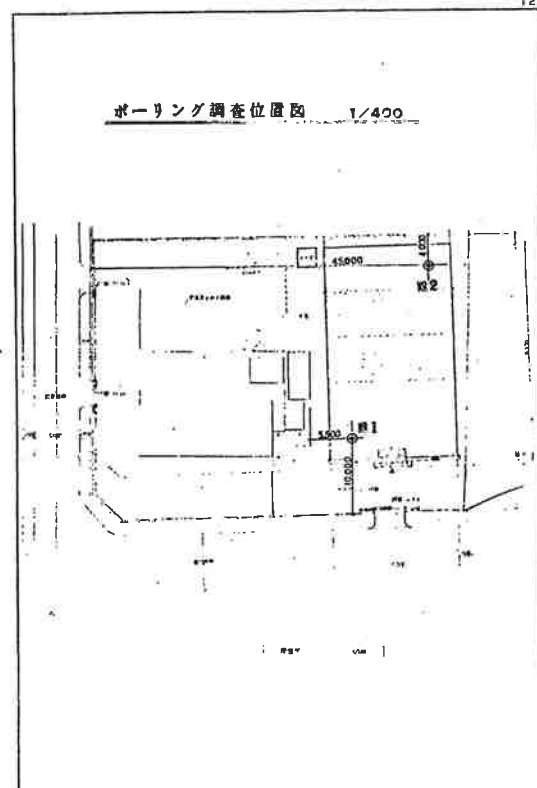


凡	例
①	アスファルト舗装
②	コンクリート舗装
③	ネットフェンス (高さ1.8m)
④	ネットフェンス (高さ1.8m)
⑤	リフト
⑥	エレベーター
⑦	花壇 植栽 (草花)
⑧	アーケード門 1ヶ所
⑨	会所
⑩	既存道路 幅員10m
⑪	砂利敷 100㎡

配置図 1/200



図名	東大五市産毛皮革毛皮クリーニング工場新築工事
図面名称	配置図 附近見取図
縮尺	1/200
図面番号	102
設計者	新大設計事務所
承認者	
作成者	



土(地)質柱状図 (No. 1)

地盤調査

町大田市 町大田 町大田 クリーニング工場
工事名 新築工事 (工場共同利用事業) 地質調査

調査場所 町大田市 町大田 町大田

調査期日 昭和 54 年 7 月 27 日 ~ 7 月 31 日

調査法 ロータリー式コーボーリング、標準貫入試験

試験採取 深 86 ~ 88% 調査担当者

孔内水位 G.L.-110m 観測日時 月 日 時

標尺 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土記号	土質 土質 土質	色 調	相対 湿度 度	試料 番号	標準貫入試験									
								深度(m)	N	10mm 値	30 30 30	30 30 30	30 30 30	30 30 30	30 30 30	30 30 30	30 30 30
1	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30	2.30	2	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30	4	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
5	5.30	5.30	5.30	5.30	5.30	5.30	5	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
6	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30	6	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
7	7.30	7.30	7.30	7.30	7.30	7.30	7	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
8	8.30	8.30	8.30	8.30	8.30	8.30	8	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
9	9.30	9.30	9.30	9.30	9.30	9.30	9	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
10	10.30	10.30	10.30	10.30	10.30	10.30	10	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
11	11.30	11.30	11.30	11.30	11.30	11.30	11	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
12	12.30	12.30	12.30	12.30	12.30	12.30	12	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	13.30	13.30	13.30	13.30	13.30	13.30	13	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
14	14.30	14.30	14.30	14.30	14.30	14.30	14	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
15	15.30	15.30	15.30	15.30	15.30	15.30	15	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
16	16.30	16.30	16.30	16.30	16.30	16.30	16	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
17	17.30	17.30	17.30	17.30	17.30	17.30	17	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
18	18.30	18.30	18.30	18.30	18.30	18.30	18	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
19	19.30	19.30	19.30	19.30	19.30	19.30	19	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
20	20.30	20.30	20.30	20.30	20.30	20.30	20	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
21	21.30	21.30	21.30	21.30	21.30	21.30	21	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
22	22.30	22.30	22.30	22.30	22.30	22.30	22	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
23	23.30	23.30	23.30	23.30	23.30	23.30	23	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
24	24.30	24.30	24.30	24.30	24.30	24.30	24	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
25	25.30	25.30	25.30	25.30	25.30	25.30	25	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
26	26.30	26.30	26.30	26.30	26.30	26.30	26	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
27	27.30	27.30	27.30	27.30	27.30	27.30	27	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
28	28.30	28.30	28.30	28.30	28.30	28.30	28	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
29	29.30	29.30	29.30	29.30	29.30	29.30	29	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12
30	30.30	30.30	30.30	30.30	30.30	30.30	30	2.15-2.45	12	12	12	12	12	12	12	12	12

土(地)質柱状図 (No. 2)

地盤系

工事名 嵐大坂道 嵐本渡車用地サリコンダ工造
新橋工務(工場内内務用係)地質調査

調査法 ローリー式コーポリング 調査員 試験

試験採取 連 8C ~ 8E 号 調査担当者

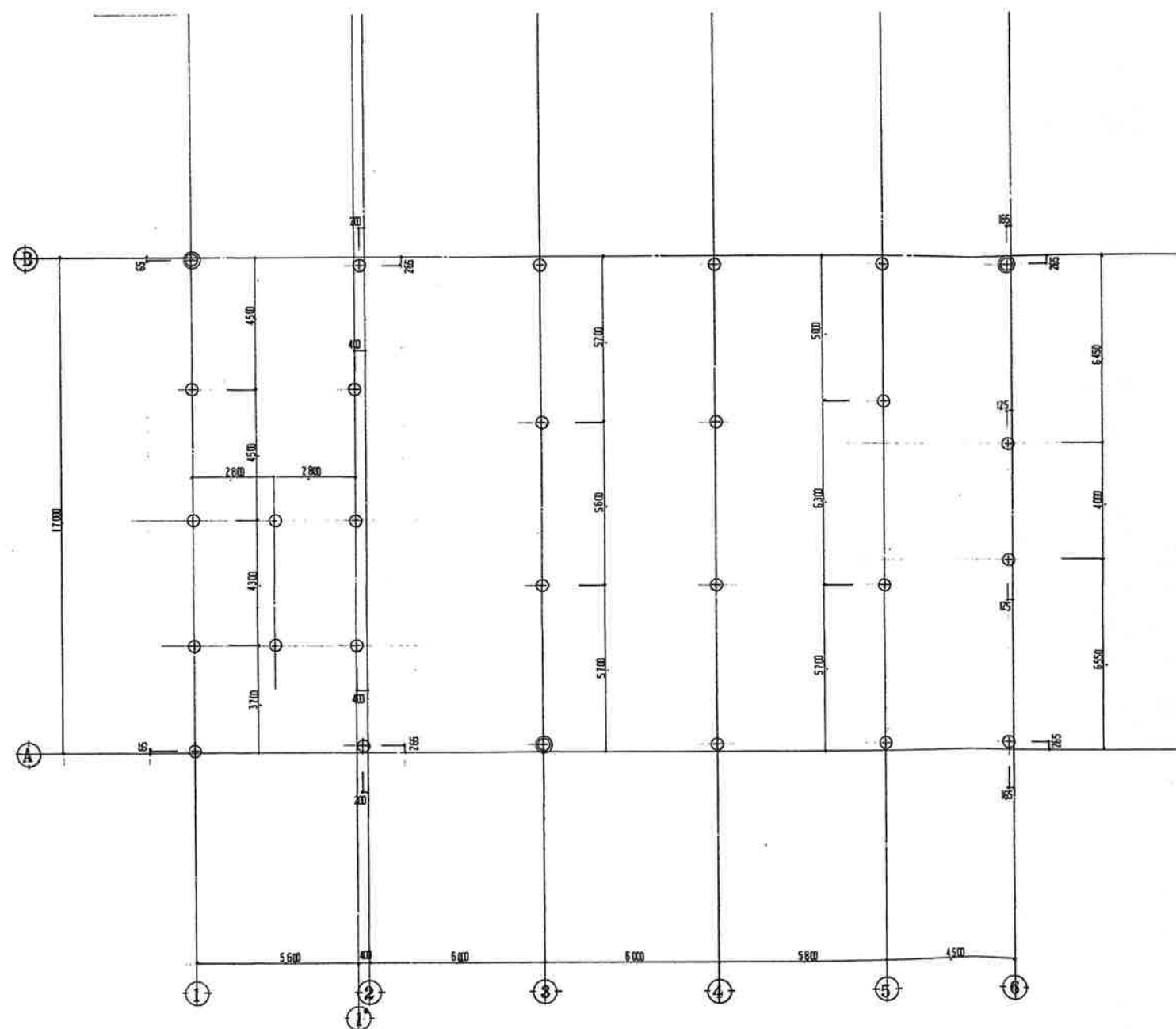
調査場所 嵐大坂南渡本 1 号

孔内水位 G.L. - 1.10m 調査日時 月 日 時

調査期日 昭和 54 年 7 月 31 日 ~ 8 月 2 日

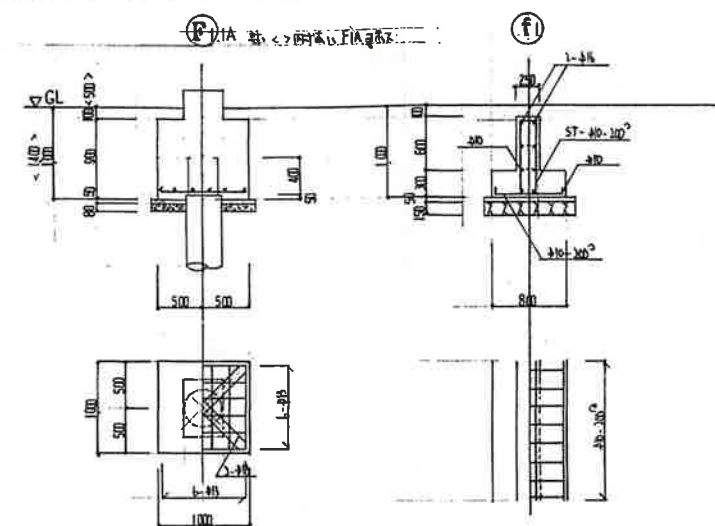
深度 (m)	層高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質 記号	土質 層名	色 調	相対 密度 測定	備 考	標準 番号	標準貫入試験										
										深度 (m)	N	10mm	15	20	30	40	50			
0.60	1.60				粘土	黄褐色		0.60~1.60 粘土層	1	△45~△45	5	2	2	7						
1.60	1.60				粘土	黄褐色		1.60~3.20 粘土層	2	△45~△45	5	7	2	2						
2.20	0.60				粘土	黄褐色		2.20~2.80 粘土層	3	△45~△45	10	3	4	3						
3.80	0.80				粘土	黄褐色		3.80~4.60 粘土層	4	△45~△45	3	5	7	2						
4.20	0.20				粘土	黄褐色		4.20~4.40 粘土層	5	△45~△45	9	2	3	3						
4.20	0.50				粘土	黄褐色		4.20~4.70 粘土層	6	△45~△45	9	2	3	3						
5.40	0.70				粘土	黄褐色		5.40~6.10 粘土層	7	△45~△45	7	4	2	7						
6.20	1.30				粘土	黄褐色		6.20~7.50 粘土層	8	△45~△45	1	1	1	1						
					粘土	黄褐色		7.50~8.80 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		8.80~9.50 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		9.50~10.00 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		10.00~10.60 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		10.60~11.60 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		11.60~12.30 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		12.30~13.60 粘土層		△45~△45	0	0	0	0						
					粘土	黄褐色		13.60~14.50 粘土層		△45~△45	1	2	2	2						
					粘土	黄褐色		14.50~15.50 粘土層		△45~△45	1	2	2	2						
					粘土	黄褐色		15.50~16.50 粘土層		△45~△45	1	2	2	2						
					粘土	黄褐色		16.50~17.60 粘土層		△45~△45	2	2	2	2						
17.60	10.00				粘土	黄褐色		17.60~27.60 粘土層	9	△45~△45	2	2	2	2						
27.60	0.40				粘土	黄褐色		27.60~28.00 粘土層	10	△45~△45	10	10	10	10						
					粘土	黄褐色		28.00~29.00 粘土層		△45~△45	10	10	10	10						
					粘土	黄褐色		29.00~30.00 粘土層		△45~△45	39	11	11	11						
30.00	2.80				粘土	黄褐色		30.00~32.80 粘土層	11	△45~△45	35	17	17	17						
32.80	0.60				粘土	黄褐色		32.80~33.40 粘土層	12	△45~△45	8	2	2	3						
					粘土	黄褐色		33.40~34.20 粘土層		△45~△45	2	2	2	2						
					粘土	黄褐色		34.20~35.00 粘土層		△45~△45	25	7	7	7						
35.00	1.40				粘土	黄褐色		35.00~36.40 粘土層	13	△45~△45	25	7	7	7						
36.40	0.50				粘土	黄褐色		36.40~36.90 粘土層	14	△45~△45	18	8	8	8						
					粘土	黄褐色		36.90~37.30 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
37.30	0.20				粘土	黄褐色		37.30~37.50 粘土層	15	△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		37.50~38.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		38.00~38.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		38.50~39.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		39.00~39.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		39.50~40.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		40.00~40.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		40.50~41.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		41.00~41.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		41.50~42.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		42.00~42.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		42.50~43.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		43.00~43.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		43.50~44.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		44.00~44.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		44.50~45.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		45.00~45.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		45.50~46.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		46.00~46.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		46.50~47.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		47.00~47.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		47.50~48.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		48.00~48.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		48.50~49.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		49.00~49.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		49.50~50.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		50.00~50.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		50.50~51.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		51.00~51.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		51.50~52.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		52.00~52.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		52.50~53.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		53.00~53.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		53.50~54.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		54.00~54.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		54.50~55.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		55.00~55.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		55.50~56.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		56.00~56.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		56.50~57.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		57.00~57.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		57.50~58.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		58.00~58.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		58.50~59.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		59.00~59.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		59.50~60.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		60.00~60.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		60.50~61.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		61.00~61.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		61.50~62.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		62.00~62.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		62.50~63.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		63.00~63.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		63.50~64.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		64.00~64.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		64.50~65.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		65.00~65.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		65.50~66.00 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		66.00~66.50 粘土層		△45~△45	50	13	13	13						
					粘土	黄褐色		66.50~67.												

名 称	京大工市荒本皮革毛皮クリーニング工場新築工事		
図面名称	ボーリング位置図	製 図	昭和 54 年 9 月
縮 尺	土質柱状図	図面番号	系 210 (牧の内)
		測 査	保 護
備 考			
特 記	株式会社新大阪設計事務所		



杭伏図 1/100 1/100 杭の位置は、F/A 図参照

基礎リスト 1/40



設計	主幹	係長	主任	係
設計	主幹	係長	主任	係

名称	東大阪市荒本皮革毛皮クリーニング工場新築工事				
図面名称	杭伏図 基礎リスト		製図	昭和	54年 8月
縮尺	1/100 1/40				
	図面番号	図 201			
	西	長	係	主任	係
	設計	主幹	係長	主任	係
特記事項	株式会社新大阪設計事務所				

株式会社新大阪設計事務所

鉄骨リスト

記号	断面
R G 1	H - 395 × 191 × 7 × 11
R G 2	H - 200 × 100 × 5.5 × 8
R b 1	H - 200 × 100 × 5.5 × 8
R b 2	H - 150 × 75 × 5 × 7
R b 3	H - 100 × 50 × 5 × 7
R b 4	H - 200 × 100 × 5.5 × 8
R b 5	H - 150 × 75 × 5 × 7
R B 1	H - 100 × 50 × 5 × 7
C 1	H - 395 × 191 × 7 × 11
P 1	H - 125 × 125 × 6.5 × 9

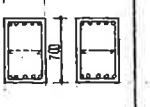
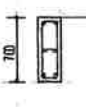
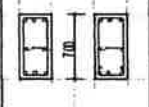
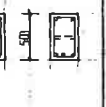
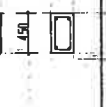
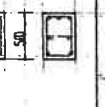
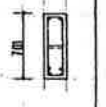
床版リスト

記号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向		
			中央部		両端部	中央部		両端部
			端部	中央部	全縁	端部	中央部	全縁
S 1	150	上端筋	410-410	410-410	410-410	同左	同左	同左
		下端筋	410-410	410-410	410-410	同左	同左	同左
S 2	150	上端筋	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410
		下端筋	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410
S 3	200	上端筋	410-410	410-410	410-410	同左	同左	同左
		下端筋	410-410	410-410	410-410	同左	同左	同左
S 4	200	上端筋	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410
		下端筋	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410	410-410
S 5	200	上端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
		下端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
S 6	150	上端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
		下端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
S 7	150	上端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
		下端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
C S 1	150	上端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左
		下端筋	410-410	410-410	同左	410-410	同左	同左

壁リスト

記号	W 18	CB 15	CB 10
断面			
版厚	180	150	100
縦筋	410-410	410-410	410-410
横筋	410-410	410-410	410-410
隅口補強筋	2-410	2-410	2-410
斜筋	2-410	2-410	2-410
巾止筋	410-410	410-410	410-410

基礎梁リスト

記号	G 1			G 2		G 3		G 4				b 1			b 2		b 3		b 4		B 1		R b 5			
	外端部	中央部	内端部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部			外端部	中央部	内端部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部	端部	中央部		
断面										CL-100																
上端筋	1-φ11	1-φ11	4-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11		
下端筋	1-φ11	4-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	4-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11	1-φ11		
S.T		φ10-100		φ10-100		φ10-100		φ10-100				φ10-100		φ10-100		φ10-100		φ10-100		φ10-100		φ10-100		φ10-100		
版筋		1-φ10		1-φ10		1-φ10		1-φ10				1-φ10		1-φ10		1-φ10		1-φ10		1-φ10		1-φ10		1-φ10		

特記事項

1. 使用コンクリート	$f_c = 180 \text{ N/mm}^2$
2. 使用鉄筋	S 50 - 30 JIS 規格品
3. 使用鋼材	鋼板 厚鋼 SS - 41
	アールボルト SR - 24
	高圧ボルト F - 10 T
4. 杭仕様	杭種 PC 杭 A 種 杭径 450 φ
	杭長 19.0M < 試験杭 19.0M >
	杭本数 28本 < 組立試験杭 3本 >
工法	アスコンパウンド・オートコンクリート注入圧入工法



東大阪市荒本皮革毛皮クリーニング工場新築工事				
図面名称	各リスト	特記事項	製 図 昭和 54 年 9 月	
縮 尺	1/40	図面番号	第 204 号	(概 図)
株式会社新大設計事務所			監 査 係 長	
			監 査 係 長	
			監 査 係 長	